

ベネズエラ デジタルガバナメント戦略

1. 背景

国名

ベネズエラ・ボリバル共和国

República Bolivariana de Venezuela

ベネズエラ・ボリバル共和国(スペイン語: República Bolivariana de Venezuela)、通称ベネズエラは、南アメリカ大陸北部に位置する連邦共和制国家。東にガイアナ、西にコロンビア、南にブラジルと国境を接し、北はカリブ海、大西洋に面する。首都はカラカスである。コロンビアと共に北アンデスの国家であるが、自らをカリブ海世界の一員であると捉えることも多い。ベネズエラ海岸の向こうには、オランダ王国の ABC 諸島(キュラソー島など)、トリニダード・トバゴといったカリブ海諸国が存在する。ガイアナとは、現在ガイアナ領のグアヤナ・エセキバを巡って、19 世紀から領土問題を抱えている。

南アメリカ大陸でも指折りの自然の宝庫として知られている。原油埋蔵量は 3008 億バレルと推測され世界最大と言われているが、近年は 2006 年から始まった米国の制裁により、原油生産は低落している。加えて石油輸出収入に依存して、他産業育成など構造改革や石油産業自体への投資を長年怠ってきた「資源の呪い」により、2010 年代以降は経済危機と政治の混乱が続いている。

2. 戦略 1. デジタルガバナメント体制づくり

Open Data Day in Venezuela March 29, 2019

3 月 2 日(土)、世界中の団体が 300 を超えるイベントを開催し、オープンデータの利用を祝い、促進し、普及させました。ベネズエラの Centro Latinoamericano de Investigaciones Sobre Internet は、Latin American Initiative for Open Data (ILDA) によるミニグラント制度で資金を受け、Open Science のテーマのもとイベントを開催しました。本レポートは、Jose Luis Mendoza が執筆したものです。

本レポートは、「インターナショナル・オープンデータ・デイ 2019」のイベントレポートシリーズの一部です。3 月 2 日(土)、世界中の団体が 300 を超えるイベントを開催し、オープンデータの利用を祝い、促進し、普及させました。ベネズエラの Centro Latinoamericano de Investigaciones Sobre Internet は、Latin American Initiative for Open Data (ILDA) によるミニグラント制度による資金提供を受け、Open Science をテーマにしたイベントを開催しました。本レポートは、Jose Luis Mendoza が執筆しました。

Venezuela's Independence Day

05 July

ベネズエラ・ボリバル共和国は、南アメリカのカリブ海沿岸に位置する共和国である。ブラジル、コロンビア、ガイアナと国境を接している。国土はエセキボ地域を除く約 916,000 平

方キロメートルで、人口は約 3,200 万人。首都カラカスには約 400 万人が住み、スペイン語が公用語である。

石油のほか、天然ガス、鉄鉱石、金、ボーキサイト、ダイヤモンドなどの鉱物資源がある。

通貨はボリバル(Bolivar)。

ニコラス・マドゥロ・モロスはベネズエラ・ボリバル共和国の大統領であり、同国は OPEC の創設メンバーである。

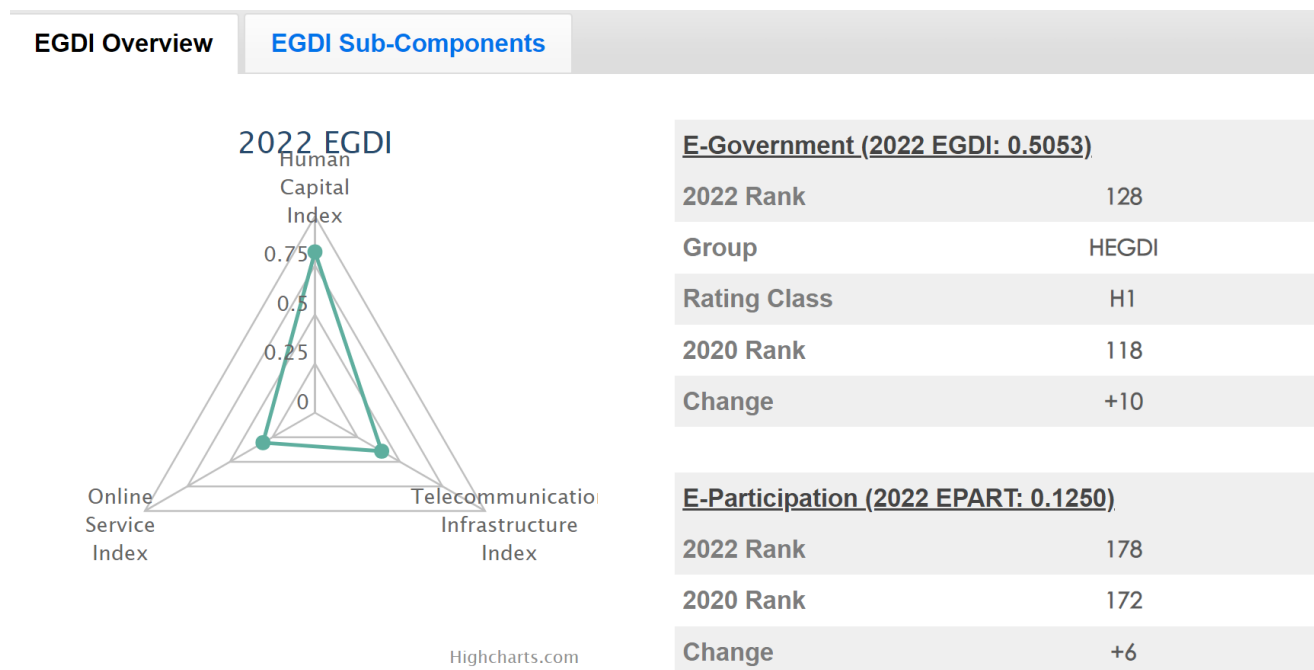
知っていましたか？

- ベネズエラには 43 の国立公園があり、国土の 15 パーセントを占めています。
- ベネズエラは、1914 年にマラカイボ湖東岸のメネ・グランデ油田で最初の商業用油田、ズマケ I が掘削されて以来、石油を生産しています。

3.戦略 2: デジタルガバメント体制づくりの評価

開発方針のチェック 2020

電子政府開発指数(EGDI) - 国連



世界幸福度ランキング 2020

2022 年の世界幸福度ランキング

ベネズエラは99位である。



日本62位

ベネズエラは結成当初から米州機構加盟国 the Organization of American States (OAS) に参加国となっている。1948 年 5 月 5 日に結成された OAS の加盟国は 21 カ国であった。アメリカ大陸の国々が主権国家として政治的に完全に独立するにつれ、加盟国は拡大していった。

4.戦略 3:オープンデータの活用を図る

Open Government Partnership (OGP)-UN

ベネズエラのオープンデータデー

Open Data Day in Venezuela

A fair, free and open future.

私たちのミッションは、Open Data Day で、よりオープンな世界、つまり、個人情報以外のすべての情報がオープンで、誰もが自由に利用し、構築し、共有できる世界、そしてクリエイターやイノベーターが公正に認められ、報われる世界を創ることです。2019 年 3 月 29 日

本レポートは、「インターナショナル・オープンデータ・デイ 2019」のイベントレポートシリーズの一部です。3 月 2 日(土)、世界中の団体が 300 を超えるイベントを開催し、オープンデータの利用を祝い、促進し、普及させました。ベネズエラの Centro Latinoamericano de Investigaciones Sobre Internet は、Latin American Initiative for Open Data (ILDA) によるミニグラント制度による資金提供を受け、Open Science をテーマにしたイベントを開催しました。本レポートは、Jose Luis Mendoza が執筆しました。

ベネズエラで最も重要な 2 つの都市(それぞれ 700km 近く離れている) Mérida と Caracas で、同時に 2 つのイベントを開催したのです。ベネズエラ中央大学とアンデス大学という主要な大学の施設内です。視聴覚機器やインターネットのツールを使って、国際的な講演者を招き、都市間の経験を交換しました。52 名の学生、大学関係者、ジュネーブ、ロンドン、サンチャゴ・デ・チリ、カラカス、メリダからの講演者が参加しました。bibliobus イベントは、創意工夫とそう遠くない開発、オープン データと情報へのアクセスの偉大な進歩と同様に、これが表す課題と国を横断する強い危機の時代を覚えての哀愁の間で移動;新しい提案、プログラム、アシスタントが興奮したソリューションの投影の他方で。したがって、我々 は「bibliobus」の回を覚えて、アンデス大学アンデス山脈のすべての町に読書を取るに開発した歩行ライブラリどこ希少資源の子供たちがある、それは伝統的なライブラリに到達するは難しい、プロジェクトは残念ながら中央国家によって彼らは寄付した車両を削除すると抑制されて、また国を横断する危機が前記車両のメンテナンスを妨げた。

インターネット・ソサエティの地方支部は、彼らの経歴や、学生や研究者が自由に利用できるウェブサイト上のリソース、低所得層の学校向けの通信インフラ開発プロジェクトについて説明しました。

乏しい資源の子供たち、それは伝統的な図書館に行くのは困難です、彼らは寄贈された車両を中央国家によって抑制され、また、国を横断して、移動する危機は、当該車両のメンテナンスを妨げた。

インターネットソサエティの支部の人たちが来て、彼らの経歴やウェブサイトで学生や研究者が自由に利用できるリソース、低所得者層の学校に対する通信インフラ整備プロジェクトについて説明しました。

ジュネーブとロンドンから言えば、高エネルギー研究の仮想センター ベネズエラ、欧州原子核研究機構とアラン・チューリング研究所に属するの創設者どのように説明大規模ハドロン衝突型加速器のオープン データを可能にした 1 つの私たちの世紀の科学を革新している発見としてリモート モードであなたの組織を指示している教育活動のセットします。ロス・アンデス大学は、そのオンライン図書館とすべてのユーザーが利用できるリソースによって世界的に認識されている、我々 はどのような国の危機の真っ只中であっても、これを可能にする、また、大学のテレマティクス・インフラ管理担当者、そして最後にメリダ州の図書館ネットワーク担当者を招き、国の危機の真っ只中にありながら、どのようにしてこれを可能にしているのかを語っていただきました。国の危機の中で、どのようにこれを可能にしているのか、図書館長を招かずにはいられなかったのです。

ジュネーブとロンドンから、欧州原子核研究機構とアラン・チューリング研究所に所属する「ベネズエラ高エネルギー研究バーチャルセンター」の創設者たちが登場します。彼らは欧州原子核研究機構とアラン・チューリング研究所に所属しています。どのように大規模なハドロン衝突型加速器のオープン データは、私たちの世紀の科学に革命をもたらした発見の 1 つを可能にしました。

リモート モードであなたの組織を指示している教育活動のセットと同様に。

オープンデータを通じてアクセスできる機会を体験的に学ぶこの種の活動に対する参加者の熱意を評価することが可能だった、両方の仕事と研究だけでなく、目に見えて国の大学の構造的貧困の影響を受けていない調査を行うことができる、熱意は、これらのような活動を繰り返すとオープンデータに加えて他の分野と自分の関心の側面、つまり、これらのデータのアプリケーションの知識の特定の分野に開いて大声で要求するようになりました。

ベネズエラの未来構想

The Future of Venezuela Initiative

ベネズエラは、西半球に安全保障上の重大な脅威をもたらす破綻国家である。戦略国際問題研究所 (CIS)のシニアフェロー、ライアン・C・バークが率いるベネズエラの将来構想は、ベネズエラの将来に関する政策対話に影響を与え、戦略的招集や重要な調査・政策分析を通じて、実用的で証拠に基づく、将来を見据えた政策提言を行っています。

最近のプログラムには以下のようなトピックがあります。

- ・ベネズエラにおける交渉のためのロードマップと教訓。
- ・非国家主体が急増する中での暴力と不安。

- ・マドゥロ政権を支える海外勢がもたらす地政学的な課題の拡大。
- ・違法採掘やガスフレアによる環境破壊への取り組み
- ・ベネズエラの経済劣化と経済再建における石油セクターの役割。
- ・近隣諸国のベネズエラ人移民に対する人道支援の効果を高め、ベネズエラで起きている人道的危機に対応すること。
- ・民主的移行における若者と女性の効果的な政治的関与を進めること。
- ・ベネズエラに対する国際的な制裁措置の効果と今後。

5.戦略 4: 膨大な政府のすべての定型データをAIで活用する

AI 戦略 2022.7.4

米 IDC は、『[Worldwide Artificial Intelligence Systems Spending Guide](#)』において、9 地域 32 カ国の 19 業界を対象に、26 のユースケースから AI(人工知能)関連のビジネス機会を算出した。結果、2019 年の AI システムへの投資額は 375 億ドル(4 兆 500 億円。1 ドル 108 円換算、以下同)で、これが 2023 年には 19 年比で 2.5 倍以上の 979 億ドル(10 兆 6000 億円弱)になると予測する。

首脳陣と閣僚

AI と石油およびガス業界

情勢が目まぐるしく変わるエネルギー生産の現場においては、AI がバリューチェーン全体に絶大な効果をもたらします。石油およびガス会社では、特定の貯留層の価値査定、現場の地質的な特徴に合わせた掘削および仕上げ計画の調整、各坑井のリスク評価で AI を活用できます。また、下流工程を最適化することで、コストの最小化と利ざやの拡大も期待できます。

3.1 emerging technologies – Wikipedia

January 18, 2021updated 02 Mar 2021 11:22am

ベネズエラの「100%デジタル経済」計画はうまくいくのか？

ニコラス・マドゥロ大統領は、デジタル化を加速させることで同国経済を救済する計画を発表した。それは可能なのか、そしてうまくいくのか。[Cristina Lago](#)

原油価格の暴落、経済の失政、米国の厳しい制裁により、ベネズエラは悲惨な経済状況に陥っている。3 年にわたるハイパーインフレで通貨ボリバルは崩壊し、国民の大半は貧困にあえいでいる。しかし、ベネズエラのニコラス・マドゥロ大統領は、完全なデジタル経済への移行という新たな救済策を打ち出しています。

2020 年 12 月、パラシオ・デ・ミラフローレスで報道陣と話すベネズエラのニコラス・マドゥロ大統領。(写真: Carolina Cabral/Getty Images)

マドゥロ大統領は 1 月 12 日、同国への年次メッセージの中で、「今年は 100%デジタル経済に移行する」と述べた。“我々は、通貨を強化することができるデジタル経済の新しいメカニズムを通じて、商業の部分的なドル化という逃げ道になっているものを組み合わせるためのさまざまな方法を探していくつもりだ”と述べた。

マドゥロの発言は、ハイパーインフレの連鎖から逃れるために、完全なキャッシュレス社会への移行を目指す野望を示唆している。ベネズエラはデジタル決済のパイオニアだが、完全なデジタル通貨システムを実現した国はない。果たしてそれは可能なのだろうか。

デジタル・ドル化 Digital dollarisation

「ドル化」とは、ハイパーインフレに対抗するために、ある国の事実上の通貨としてドル（または他の外国通貨）を採用することを指す。マドゥロ大統領は、経済危機が深まるにつれ、ドル化に関する立場を変えてきた。当初はボリバルを支えるためにドルの使用を取り締まったが、今ではドルを称賛する姿勢に転じている。「ドル札の存在に感謝する」と去年のインタビューで答えている。

ドル紙幣は絶対に実用的でないことに人々は気づいている。

クリプトバイヤーCEO ジョルジ・ファリアス氏

データ、洞察、分析をあなたにお届けします全てのニュースレターを見る By The Tech Monitor team ニュースレターに登録するこちらで登録する

従来のドル化は紙幣の輸入に依存しており、コストと手間がかかる。ベネズエラでは、紙幣は供給不足で役に立たないと、ラテンアメリカ全域でビットコインやその他の暗号通貨を仲介するフィンテック新興企業、Cryptobuyer の CEO、Jorge Farias は言う。

The Tech Monitor team が VIEW ALL NEWSLETTERS をお届けします。

ニュースレターの登録はこちらから SIGN UP

「ベネズエラには貨幣の質量がない。「100ドル札を持って店や市場に行くと、商人はお釣りを持っていないので、全部使わなければならない。100ドル札を持って店や市場に行くと、お釣りがいないから全部使わなければならない。ドル紙幣はまったく実用的でないことが分かってきているのです」。パートナーからのコンテンツ

デジタルトランスフォーメーションについて金融リーダーが勘違いしていること

ベネズエラの人々は、代わりにデジタル決済サービスを利用してドル決済を行い、その結果、同国はデジタル決済のパイオニアとなっています。

ベネズエラのデジタル決済

ベネズエラでも、世界と同様に、パンデミック時にデジタル決済の導入が進みました。同国の銀行規制当局である Sudeban は、2020 年 5 月に平均 3800 万件の ピアツーピア (P2P) モバイル取引 を登録し、前年同期比 50% 増を記録しました。企業へのモバイル決済は前年同期比 783% 増加した。

特に、米国の銀行連合が所有する ピアツーピア (P2P) 決済アプリ の「Zelle」が人気を集めている。現地の調査会社エコアナリティカによると、2019 年のベネズエラ 10 都市における商取引の 12% を占め、「Aceptamos Zelle」（「Zelle を受け入れます」）をうたう看板がいたるところにあるほど人気がある。Zelle を利用するには米国に拠点を置く銀行口座が必要だが、ベネズエラでは特に学生の間で一般的である。Zelle の利用規約では商取引が禁止されており、アプリを提供する ウェルズ・ファーゴ は昨年 6 月にベネズエラでの利用を一時的に禁止したが、10 月に再開している。

また、調査プロバイダーの Chainalysis によると、ベネズエラはロシアとウクライナに次いで3番目に暗号通貨の普及率が高い国です。ベネズエラ政府が2018年に創設し、相当量の石油、金、ダイヤモンドの埋蔵量を裏付けとする暗号通貨ペトロは、海外のオブザーバーから「詐欺」と見なされており、小売業者から支払い手段として拒否されたと伝えられている。しかし、ビットコインやライトコインなど、より確立された他の暗号通貨は利用が拡大している。Cryptobuyer 社の Jorge Farias 氏によると、1日の支払いの3%が暗号通貨で行われているそうです。

ベネズエラでも、世界と同様に、パンデミック時にデジタル決済の導入が進みました。同国の銀行規制当局である Sudeban は、2020年5月に平均3800万件のピアツーピア(P2P)モバイル取引を登録し、前年同期比50%増を記録しました。企業へのモバイル決済は前年同期比783%増加した。そして、2018年に登場した生体認証決済システム「BioPago」を利用した取引は、2019年6月の200万件から、2020年6月の最初の8日間で300万件以上に増加しました。

– Covid-19 は、最も必要とされる時にインターネットアクセスの成長を遅らせたの支払いに利用することができるのです」と、Murrant は説明します。「もし誰かがこのシステムから抜け出し、現物の通貨にアクセスできなくなれば、人々を経済から締め出してしまうことになるからです。

この点では、ベネズエラは多くの国よりもチャンスがあると言えます。ある調査によると、ベネズエラはラテンアメリカで最も高い銀行利用率を持っています。また、銀行サービスを利用する成人の数は、過去9年間で47%から90%に増加したと、同国の銀行監督機関は述べています。

支払いについて、ムラントは説明します。

「もし誰かがこのシステムから抜け出し、現物の通貨にアクセスできなくなれば、人々を経済から締め出してしまうことになるからです。

この点では、ベネズエラは多くの国よりもチャンスがあると言えます。ある調査によると、ベネズエラはラテンアメリカで最も高い銀行利用率を持っています。また、銀行サービスを利用する成人の数は、過去9年間で47%から90%に増加したと、同国の銀行監督機関は述べています。

完全にデジタル化された決済インフラでは、停電やサイバー攻撃の際にも資金の流れを維持するためのフェイルセーフが必要になると Murrant 氏は指摘します。「そのような圧力に耐えるためには、冗長システムか冗長電源のどちらかが必要です」。

これを実現する一つの方法は、単一障害点が存在しない分散型の決済システムを構築することであろう。「国家的な貨幣システムの場合、政府はすべての貨幣供給をコントロールしたいので、分散型システムを許可する可能性はほとんどないでしょう」と Murrant 氏と言う。

ベネズエラの ICT インフラはどの程度整備されているのか？

完全にデジタル化された決済システムのもう一つの前提条件は、信頼性が高く、アクセスしやすく、普及している ICT インフラです。ベネズエラは、この点で、さらに追いつかなければならない。

ベネズエラは、The Economist Intelligence Unit の Inclusive Internet Index の対象 100 カ国中、75 位にランクインしています。この指標によると、ベネズエラのモバイルインフラは、より貧しい国のものと似ています。そして、インターネット接続の質も悪くなっています。2020 年、固定インターネット接続の平均速度は 28% 低下し、2.83mbps になった。

しかし、ベネズエラの人口の 81% が携帯電話接続を持ち、インターネット普及率は 72% に達し、世界平均の 53% を大きく上回っています。モバイルインターネットの普及は、ソーシャルネットワークの普及が牽引しています。しかし、Economist Intelligence Unit は、ベネズエラのインフラへのアクセス改善のための政策手段を「中途半端」と評しています。ファリアス氏によると、同国が直面している深刻な危機にもかかわらず、民間セクターは最近、ICT インフラに大規模な投資を始めています。テレフォニカの子会社であるモビスターは、昨年、同国の 4G インフラに 1050 万ドル を投資すると発表した。ベネズエラで起きている民主主義の侵食と経済崩壊は.....この種の対策では解決できない。

オックスフォード大学 Maryhen Jiménez Morales 博士

「ベネズエラの他の企業も光ファイバー敷設に取り組んでいる」と Farias 氏は付け加える。「政府から独立した民間企業が、ベネズエラの技術インフラを支えているのです。1 年前にはなかった選択肢が、今ではすでにあるのです」。

昨年、Cryptobuyer とカナダのブロックチェーン技術企業である Blockstream は、インターネット接続を必要とせずにビットコイン取引を可能にする 衛星ノード を立ち上げました。ファリアス氏は、これによりベネズエラにおける暗号決済の接続性の問題を埋めることができるとしています。

2021 年、ベネズエラは完全なデジタル経済になるのか？

完全なデジタル経済に移行するには、慎重かつ有能な管理が必要であり、これがベネズエラの最大のハードルかもしれません。ベネズエラは独裁的で脆弱な国家であり、最も基本的なニーズまで低下していると、オックスフォード大学ラテンアメリカセンターの博士研究員である Maryhen Jiménez Morales 博士は言い、このような複雑なプロジェクトは非現実的であると述べています。

また、同国の経済危機の解決に成功するとも考えていない。「過去 22 年間にベネズエラで起きている民主主義の侵食と経済崩壊は、このような手段では解決できない」と

Maryhen Jiménez Morales 博士は言う。

とはいえ、マドゥーロの計画は、デジタル通貨政策の重要な実験になる可能性がある。世界中の政府が独自のデジタル通貨を開発しているのは、多くの場合、ドルやビットコインなど、自分たちが管理できない通貨がデジタル取引に使われるようになっていることに対抗するためだ。インフレ率の高い国々は、その結果を興味深く見守っていることだろう。マドゥーロが完全なデジタル経済をサポートするための決済方法と必要な技術の導入を実行するために任命したステバンは、Tech に応答しなかった

6. 戦略 5: 政府のサービスやミッションがいつでもどこでも使える 5G

5G の使い方

Digitel はベネズエラの主要な電話会社の 1 つで、無制限のナビゲーションで最高の接続性と技術サービスの 1 つを提供しています。顧客はこの通信会社にとって最も重要なことなので、顧客サービスセンターと認定代理店を通じて質の高いサービスを提供する責任があります。

ベネズエラが 5G ネットワークを持つためには、全国で 4G カバレッジを完了している必要があります。Digitel は、接続の可能性を高め、優れたサービスを提供するために、インフラ、国土全体に配置されたアンテナと信号リピーターの設置に関して最も進歩した企業の 1 つです。

5G ネットワークが提供する利点は何ですか？

4G 世代から 5G への移行は、高速で効率的で信頼性の高いナビゲーションサービスを提供するという事実を考慮すると、その利点の中で強調されています。

- ネットワーク使用量の削減により、データ消費量が削減されます。
- 利用可能な電波の拡大を通じて、より多くのモバイルデバイスを組み込む可能性。
- 最大 10Gbps のデータ伝送とダウンロード速度は、4G および 4.5G ネットワークが提供するサービスの 10～100 倍優れています。
- 単位面積あたり 1000 倍の高速ブロードバンドサービス。

さまざまな通信会社で使用するために携帯電話を解放することで、5G ネットワークにアクセスできますか？

現在、特定の帯域や電話会社で動作するスマートフォンを取得することは非常に一般的であるため、国内で電気通信サービスを提供する他の企業と互換性があるようにロックを解除する必要があります。

Movilnet または Movistar 社からモバイルを購入し、Digitel で使用したい場合、またはその逆の場合は、モバイルを安全かつ効果的にロック解除するための手順を示すインターネット上のチュートリアルがあります。

このようにして、各電話会社が提供する接続サービスを楽しむことができるので、アンテナとリピータの分布に応じて、あなたがいる地理的領域とその特定の地域で利用可能なサービス、4G と 5G の両方に応じて、接続要件に最も適したものを選択できます。接続を確立するための信号が良くても悪くもなります。

あなたは無料でオンラインでデジタルの携帯電話のロックを解除することはできますか？

Digitel 携帯電話を オンラインで迅速かつ効率的に、無料でリリースすることはすでに可能であり、次の手順に従うだけで、他の電話会社と互換性があります。

- ステップ#1。不要な個人情報を提供しないように注意しながら、プロセスを実行するページを選択します。
- ステップ#2。ページが要求するデータには、国、ロックを解除するモバイルのブランド、IMEI コードなどがあります。
- ステップ#3。プロセス中に、ロック解除を進めるために必要な情報を提供する必要があります。フォームで要求されたすべてに回答した後、手続き完了の通知が取得されます。
- ステップ#4。プロセスの最後に、手順が正常に実行されたことを裏付けるために、バンドがリリースされたかどうかを証明するために、Digitel 以外の別の会社の「Sim Card」を挿入する必要があります。

モバイルの IMEI コードのロックを解除することは可能ですか？

これは、次のような手順で実行できます。

- ステップ#1。ロックを解除するデバイスの IMEI コードを取得します。
- ステップ#2。このタイプのウェブサイトは通常有料であるため、信頼できるページを選択してモバイルのロックを解除してください。
- ステップ#3。ロックを解除するデバイスを識別できるフォームに回答するために必要な情報を入力します。通常、ロック解除プロセスが完了したという通知をメールで受け取るまで、しばらく待つ必要があります。
- ステップ#4。通知を受け取ったら、デバイスのロックが正常に解除されたことを確認する必要があります。

今日では、最高の機能とサービスを提供する電気通信会社で使用するためにモバイルバンドのロックを解除することと、後で使用するための IMEI のロック解除の両方が可能です。

7.戦略 6: Covid-19 に対応

コロナの緊急事態(テレワーク)が AI との共生社会を促進する
ウイルス

Venezuela Needs Help to Combat COVID-19 March 20, 2020

COVID-19 が世界中に広がる中、最も大きな影響を受けるのはベネズエラのような医療インフラが不十分な国でしょう。ベネズエラの危機的状況により、すでに大きな圧力がかかっていた医療、水、電気、経済の各システムの不備が、ウイルスの感染により露呈しつつあるのです。さらに、原油価格の下落が、同国の崩壊しつつある石油産業をさらに悪化させ、悲惨な人道的危機を悪化させている。これらのことは、ベネズエラの政治が重大な局面を迎えているときに起こっている。グアイドー暫定大統領は最近、国際ツアーから戻り成功を収めたが、社会的距離を求める声の中で、内部の勢いが止まることは間違いないだろう。

ベネズエラの人々がパンデミックに備える一方で、国際社会は常に関与していなければなりません。COVID-19 が世界中に広がれば、ベネズエラのような医療インフラの整っていない国で最大の影響を受ける可能性があります。ベネズエラの危機的状況により、すでに大きな圧力がかかっていた医療、水、電気、経済の各システムの不備が、ウイルスの感染により露呈しつつあるのです。さらに、原油価格の下落が、同国の崩壊しつつある石油産業をさらに悪化させ、悲惨な人道的危機を悪化させている。これらのことは、ベネズエラの政治が重大な局面を迎えているときに起こっている。グアイドー暫定大統領は最近、国際ツアーから戻り成功を収めたが、社会的距離を求める声の中で、内部の勢いが止まることは間違いないだろう。

ベネズエラの医療制度はパンデミックへの備えがない。

ベネズエラでは、これまでに少なくとも 42 人の感染者が確認されています。中国が検査キットを供給すると伝えられていますが、推定で 70% の病院がまだキットを入手できていないため、本当の数字はもっと高いと思われます。2019 年、Global Health Security Index は、ベネズエラをパンデミックへの対応準備が最も遅れている国の一つに位置づけました。ベネズエラの病院には、感染予防や病気の治療に必要な基本的な物資が不足しています。医療従事者の約 3 分の 2 は、手袋、石鹸、その他の消毒剤を利用できないと回答しています。公立病院では水不足が一般的で、数週間続くこともあり、問題はさらに深刻です。さらに、COVID-19 への対応は、レントゲン、臨床検査、人工呼吸器の不足によって複雑になっています。

ベネズエラの人々がパンデミックに備える一方で、国際社会は常に関与していなければなりません。COVID-19 が世界中に広がれば、ベネズエラのような医療インフラの整っていない国で最大の影響を受ける可能性があります。ベネズエラの危機的状況により、すでに大きな圧力がかかっていた医療、水、電気、経済の各システムの不備が、ウイルスの感染により露呈しつつあるのです。さらに、原油価格の下落が、同国の崩壊しつつある石油産業をさらに悪化させ、悲惨な人道的危機を悪化させている。これらのことは、ベネズエラの政治が重大な局面を迎えているときに起こっている。グアイドー暫定大統領は最近、国際ツアーから戻り成功を収めたが、社会的距離を求める声の中で、内部の勢いが止まることは間違いないだろう。

ベネズエラの医療制度はパンデミックへの備えがない

ベネズエラでは、これまでに少なくとも 42 人の感染者が確認されています。中国が検査キットを供給すると伝えられていますが、推定で 70% の病院がまだキットを入手できていないため、本当の数字はもっと高いと思われます。2019 年、Global Health Security Index は、ベネズエラをパンデミックへの対応が最も遅れている国のひとつに位置づけました。ベネズエラの病院には、感染予防や病気の治療に必要な基本的な物資が不足しています。医療従事者の約 3 分の 2 は、手袋、石鹸、その他の消毒剤を利用できないと回答しています。公立病院では水不足が一般的で、数週間続くこともあり、問題はさらに深刻で

す。さらに、COVID-19 への対応は、X 線、臨床検査、人工呼吸器の不足によって複雑になっています。